

# やなけん！

台東区立谷中小学校 研究だより

## 第1号

令和4年 6月7日(火)  
台東区立谷中小学校  
研究推進委員会

**研究主題** よく考え工夫する児童の育成 ～体育科におけるICTの活用を通して～

## 第1回研究授業報告！

【日時】5月24日(火) 5校時 【対象】1年2組 25名

【授業者】藤沢 佑 【領域】表現リズム遊び

【単元名】「へんしん！やなかどうぶつのもり」

本時のねらいは「動物の動きの特徴を考えたり、考えたことを友達に伝えたりしながら工夫して踊っている。」でした。本校の研究主題である「よく考える児童の育成」を目指すために、本物のタコの映像を見せ、タコがどのような動きをしているか、体でどのように表現するかを考えさせました。子供たちは、映像を見たことによってタコの泳ぎ方を工夫したり、友達とつながって大きなタコを表現したりするなど、考えを広げることができました。



### 授業評価シートより

- ・頭・手足を分担して表現するのは、動きではなく、形の表現だと感じた。
- ・授業の土台は学級経営があってこそ！
- ・児童が見通しをもてる授業が大切だと感じた。
- ・低学年の体育は楽しくてナンボ！
- ・本当に考えているのか、工夫しているのか、おふざけになっていないかの見取りや評価が難しいと感じた。
- ・「グッド」「ベリーグッド」「エクセレント」など、子供たちにも分かる評価のレベルがあるとよいのでは？
- ・マスクの着脱のタイミングも定着するとよい。

|                                | 平均値   |
|--------------------------------|-------|
| 1. 児童の運動量は十分に確保されていた。          | 4.182 |
| 2. 教師は場面展開をスムーズに行っていた。         | 4.455 |
| 3. 児童の移動や待機の場面が少なかった。          | 4     |
| 4. 児童はよく考えて学習していた。             | 3.909 |
| 5. 児童は動きを工夫して運動していた。           | 3.818 |
| 6. 児童の思考力を高めるためにICTの活用は有効であった。 | 4.091 |
| 7. 児童は主体的に学習に取り組んでいた           | 4.364 |
| 8. 児童は楽しく学習していた。               | 5     |
| 9. 児童は授業の約束事を守っていた。            | 4.636 |
| 10. 教師は児童に適切な言葉かけをしていた。        | 4.273 |

### ◎成果と▲課題

- ◎コーディングシートの活用により授業時間の使い方が明確になり、児童が運動している時間や思考している時間のマネジメントがしやすくなった。
- ◎「うごきのたからばこ」や「うごきのくふう」を全体で共有したことにより、よい動きを取り入れようとする児童が増えた。
- ◎動物の映像を見せた（ICTの活用）ことにより、動きに広がりがあった。→思考が広がった。
- ▲評価の重点はもっていたが、運動の特性上一人ひとりが様々な動きをするため、見取ることが難しく、さらに1年生は学習カードに考えを記述することができないため、思考・判断・表現の評価が難しかった。→「よく考え工夫する力が高まったか」をどう検証するか。
- ▲コーディングシートにより、児童が実際に運動している時間は全体の約27%だと分かった。本時では35%を目指していたため、改善が必要である。→ただし、認知学習場面の確保も重要。

### 授業者(藤沢佑教諭)より

今回、コーディングシートを取り入れたことで授業時間の使い方（児童の運動時間や教師のマネジメント時間）が明確になり、教師の時間感覚とズレがあることが分かりました。児童がどれぐらい運動できているのか、単元の中で第何時にどれぐらいの運動量が必要かを意識するという授業づくりの視点をもつことができました。「校内研究」なのでこの視点を他の教科にも生かしていきたいと思えます。また、先生方から様々な分野の視点からのアドバイスをいただくことができ、校内研究の良さ・楽しさを感じることができました。ありがとうございました！